

**JSP**



2021年3月期

# 決算説明

---

株式会社JSP

1

# 経営方針

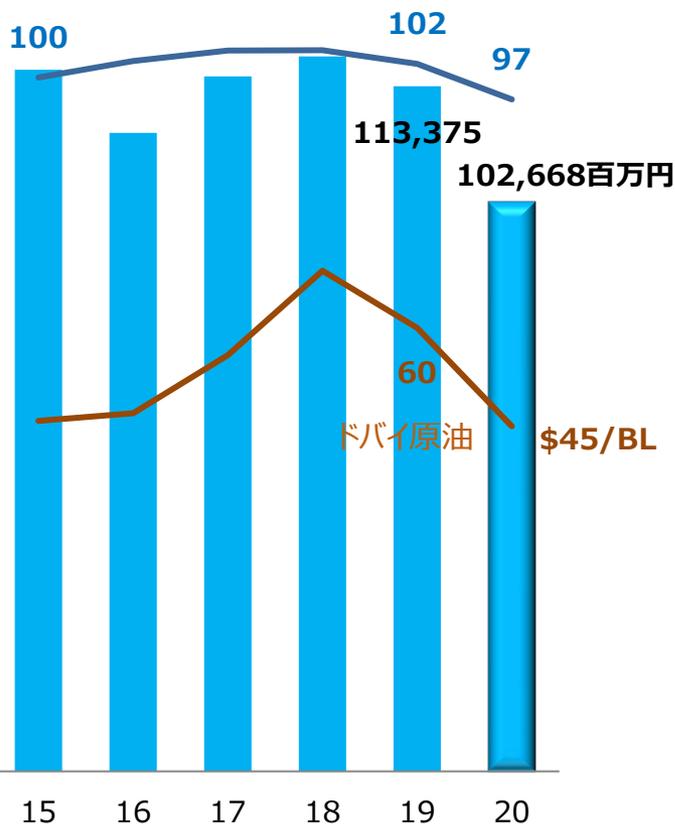
JSP Corporation  
A Global Supplier for Global Society

*Deliver with*  
**Wow!**

1. **2021年3月期決算概要（2020年度）**
2. 2022年3月期決算見通し（2021年度見通し）
3. 2021年3月期決算補足（2020年度補足）
4. サステナビリティ社会に貢献する製品紹介

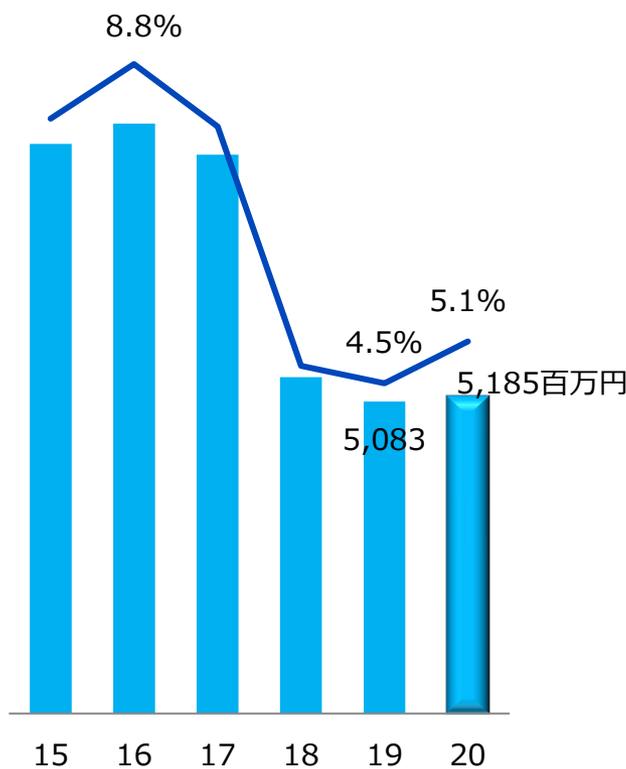
## Growth

売上高・販売数量



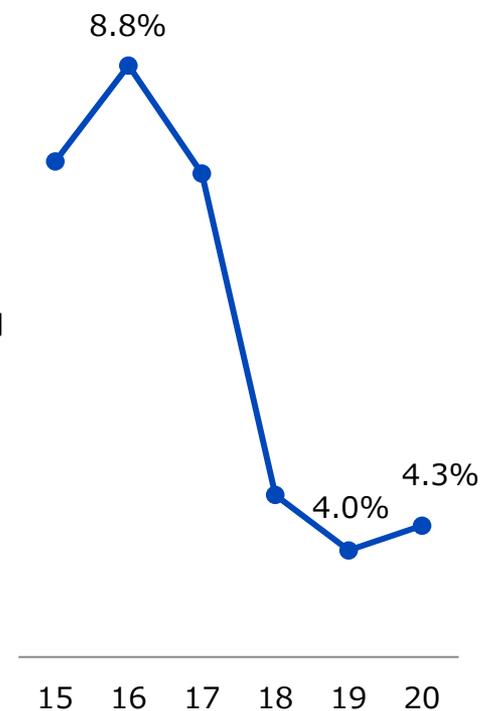
## Margin

営業利益・営業利益率



## Return

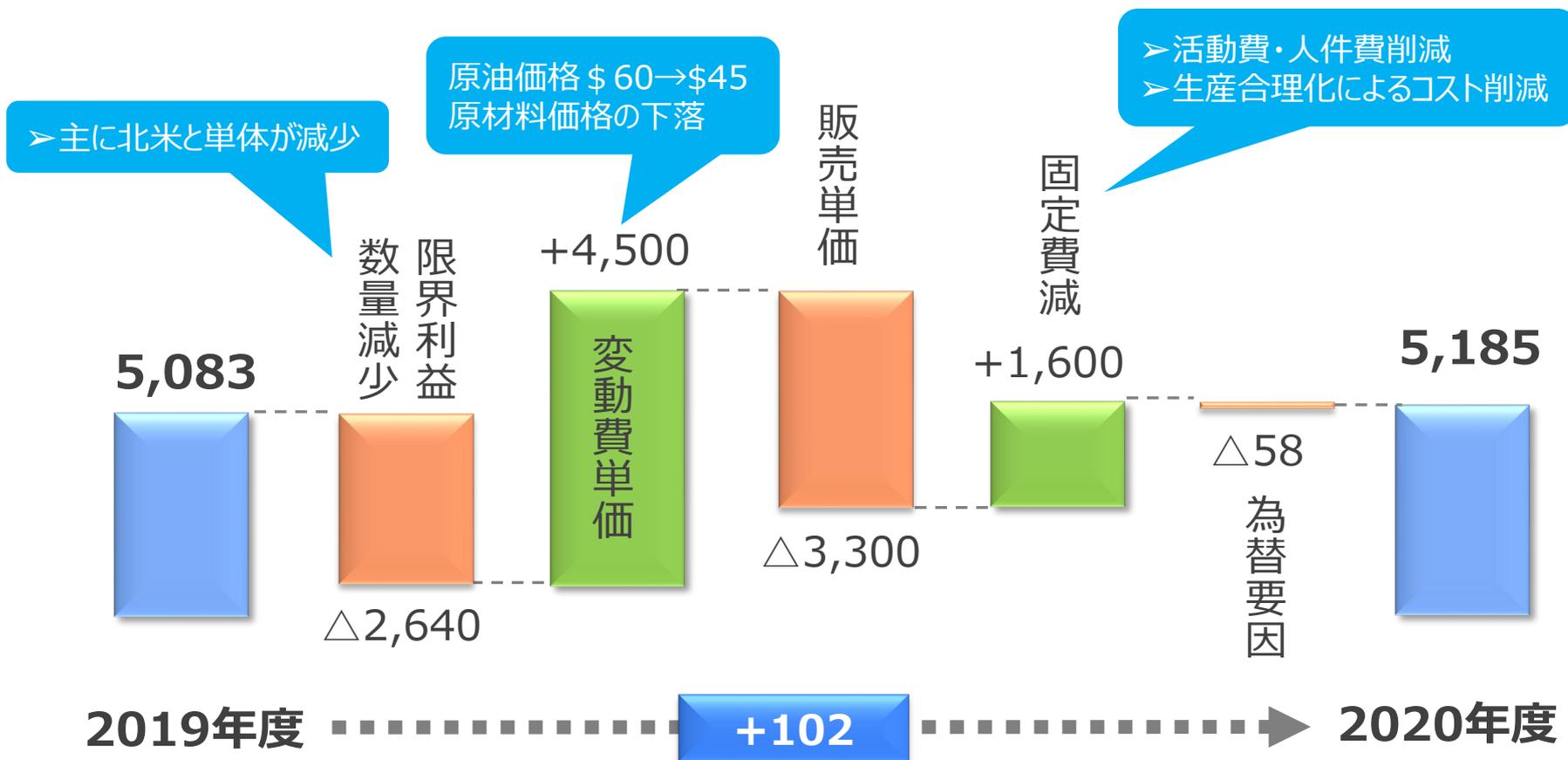
総資産経常利益率



項目 (単位：百万円)	2019年度 実績	2020年度 業績予想 (2021/4/12)	2020年度 実績	前年比	公表比
売上高	113,375	102,500	<b>102,668</b>	△9.4%	0.2%
営業利益	5,083	5,200	<b>5,185</b>	2.0%	△0.3%
経常利益	5,210	5,400	<b>5,519</b>	5.9%	2.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,638	2,700	<b>3,017</b>	△17.1%	11.7%

- 為替：106.4円/\$ 122.0円/€ 15.4円/元(2019年度 109.2円/\$ 122.2円/€ 15.8円/元)
- 原油価格：\$44.7/バーレル（2019年度 \$60.3/バーレル）※ドバイ原油価格
- 経済状況：世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により急減速、経済・社会活動の再開により生産や個人消費などは回復基調も、感染再拡大により依然不透明な状況が続く。
- 国内発泡プラスチック業界：食品分野にて一部巣ごもり需要あり、水産、工業及び建材分野では経済活動の制限から需要低下
- 連結業績
  - 売上高：コロナ禍の影響が大きく、前年比9.4%減
  - 営業利益：付加価値の高い製品の販売増加、生産合理化に伴う固定費削減などにより利益増

(単位：百万円)



項目 (単位：百万円)	2019年度 実績	2020年度 実績	前年比
売上高	39,795	<b>37,595</b>	△5.5%
営業利益	2,293	<b>2,576</b>	12.3%

コロナ禍など需要減少の影響により売上減、生産合理化・固定費削減で増益

### 食品包材・容器



「スチレンペーパー」  
「ミラボード」

- 「スチレンペーパー」など生活資材製品は、食品トレー向け分野の販売増加
- 「ミラボード」の販売は低調

### 産業用包装材



「ミラマット」  
「キャプロン」  
「Pボード」

- 付加価値の高い産業資材製品は、中国・韓国向け販売が大幅に増加
- 国内向けや汎用製品は販売減少

### 住宅用断熱材・土木資材



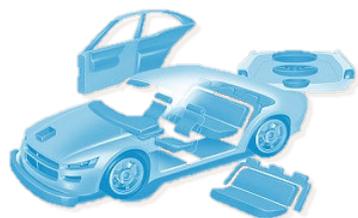
「ミラフォーム」

- 土木分野向けは好調
- 建築分野向けは、住宅着工件数減少に伴う需要への影響により低調

項目 (単位：百万円)	2019年度 実績	2020年度 実績	前年比
売上高	67,771	<b>59,893</b>	△11.6%
営業利益	3,783	<b>3,550</b>	△6.1%

## 自動車分野など需要減少の影響により減収減益

## 自動車部品・家電緩衝材・グラウンド基礎材



「ピーブロック」  
英名 (ARPRO)  
「エレンポールNEO」



- 自動車メーカー稼働停止などの影響により売上減
- 国内：自動車部品分野は低調
- 北米「Paver Base」、台湾の緩衝包装材は好調
- 欧州、中国：自動車分野など期末にかけて増加傾向

## 発泡性ポリスチレン・ハイブリッド成形品



「スチロダイア」  
「ヒートポールGR」  
「クリアポール」  
「スーパーブロー」

- 「スチロダイア」水産・農業分野で需要減少
- ハイブリッド成形品「Foamcore」も需要減少
- 改良グレードの市場導入により増販

項目 (単位：百万円)	2019年度 実績	2020年度 実績	前年比
売上高	5,808	<b>5,179</b>	△10.8%
営業利益	103	<b>96</b>	△6.4%

## 国内、中国ともに売上減少

## 国内一般包材



自動車部品トレイ



光学部品緩衝材

- 自動車部品輸送関連等の販売減により売上減少

## 中国一般包材



I T 家電緩衝材



- 各種部品関連の需要が低調に推移し売上減少

1. 2021年3月期決算概要（2020年度）
- 2. 2022年3月期決算見通し（2021年度見通し）**
3. 2021年3月期決算補足（2020年度補足）
4. サステナビリティ社会に貢献する製品紹介

項目 (単位：百万円)	2020年度 実績	2021年度 見通し	前年比
売上高	102,668	<b>113,000</b>	10.1%
営業利益	5,185	<b>5,000</b>	△3.6%
経常利益	5,519	<b>5,200</b>	△5.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,017	<b>3,400</b>	12.7%

- 原油価格：\$60～65/バーレル（2020年 \$44.7/バーレル）※ドバイ原油価格
- 為替：108円/\$、128円/€、16.5円/元（2020年 106.4円/\$、122.0円/€、15.4円/元）
- 配当：1株当たりの配当金（予想）年間 50円（中間25円、期末25円（予想））
- 前提条件：① 新型コロナウイルス感染症の影響は依然不透明、下期に向けて回復基調  
 ② 北米はV字回復、欧州も回復に向かうと予測。中国はいち早く経済活動正常化に向かう  
 ③ 日本経済は、下期より経済活動の正常化が進むことを想定

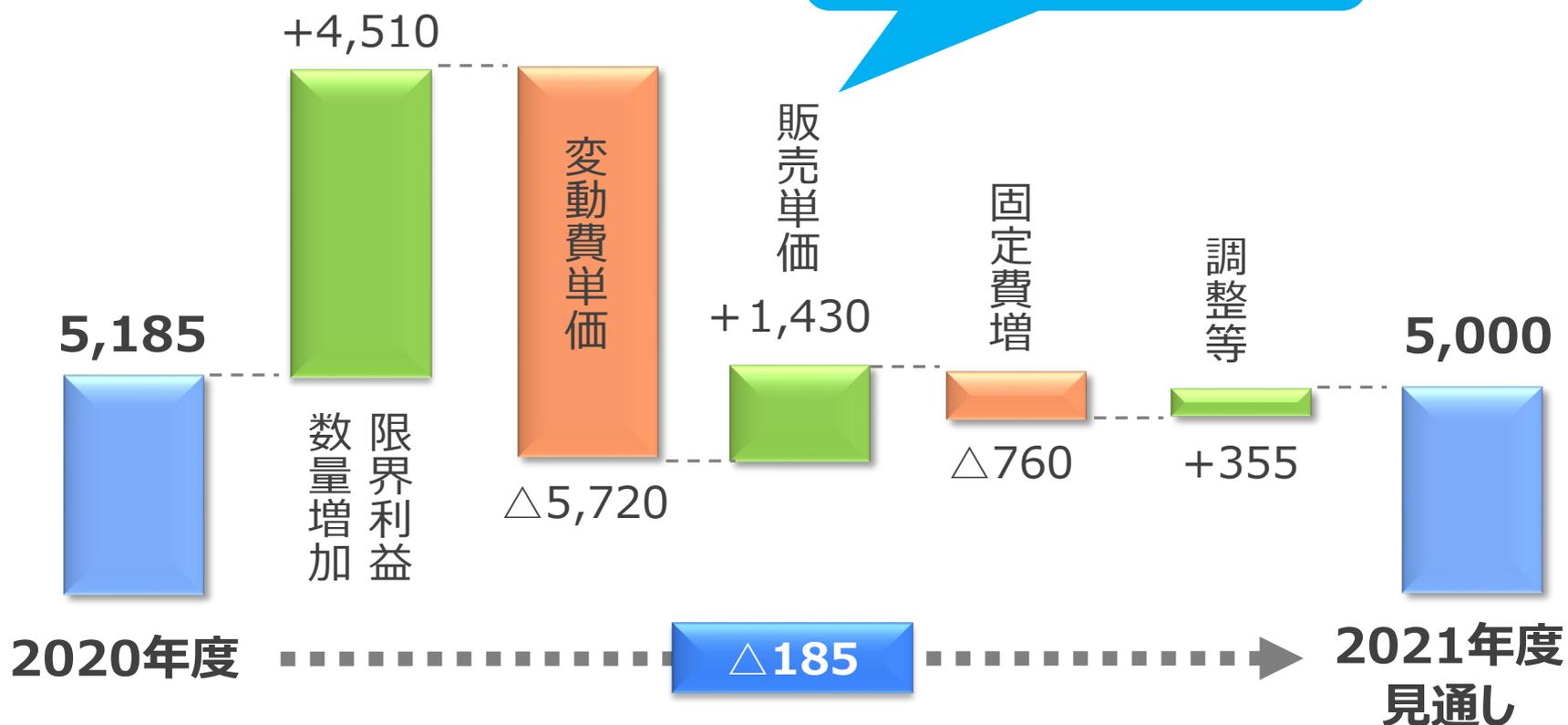
# 営業利益の増減要因

2021年度見通し  
JSP Corporation  
A Global Supplier for Global Society

EPP、建築資材分野など  
販売増加見込み

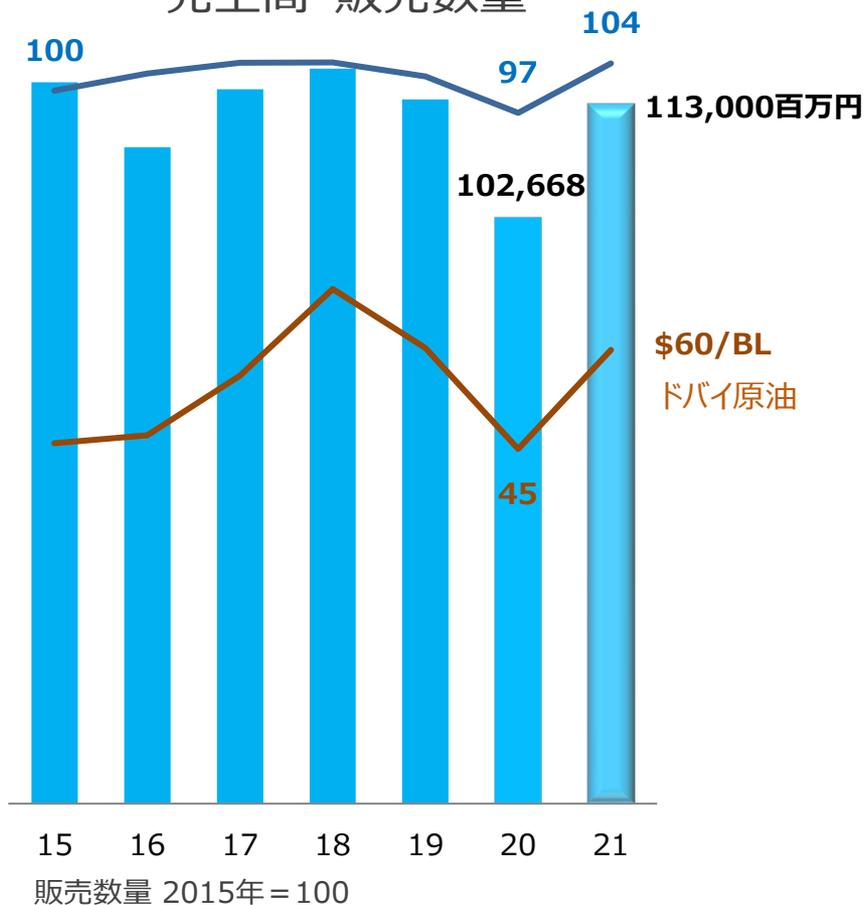
(単位：百万円)

販売単価要因と変動費単価要因の  
差は、価格見直しの遅れ、製品構成  
などによる



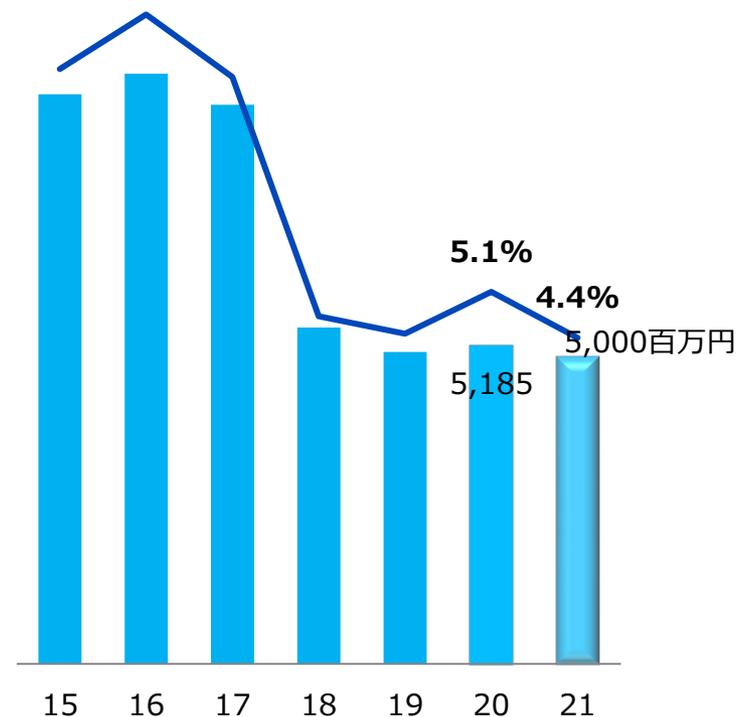
## Growth

売上高・販売数量



## Margin

営業利益・営業利益率



項目 (単位：百万円)	2020年度 実績	2021年度 見通し	前年比
売上高	37,595	39,200	4.3%
営業利益	2,576	2,200	△14.6%

販売増加により売上増、原料価格の上昇の影響により減益

### 食品包材・容器



#### 「耐熱PSP」 「ミラボード」

- スーパーマーケット向けやテイクアウト用容器の需要は好調に推移する見通し

### 産業用包装材



#### 「ミラマット」 「キャプロン」 「Pボード」

- 産業資材製品の需要は、引き続き堅調に推移する見通し

### 住宅用断熱材・土木資材



#### 「ミラフォーム」 「ウォールブロック」

- ポストコロナへの移行の期待感と省エネ性能の高い住宅の需要増により回復に向かうと予想

項目 (単位：百万円)	2020年度 実績	2021年度 見通し	前年比
売上高	59,893	68,400	14.2%
営業利益	3,550	3,800	7.0%

## 販売回復と原料価格上昇による価格見直しにより増収増益

## 自動車部品・家電緩衝材・スポーツシューズ


**「ピーブロック」 「エレンポールNEO」 「ARGILIX」**

- 「ピーブロック」：半導体チップ不足の影響はあるものの、販売は増加
- 北米のポリプロピレン価格高騰が懸念材料

## 発泡性ポリスチレン・ハイブリッド成形品

**「スチロダイア」  
「ヒートポールGR」  
「クリアポール」**


- 「スチロダイア」など：ビーズクッションなど機能性製品の需要は増加すると予想
- 「Foamcore」：住宅取得マインドの回復により販売増加と予測

# 15 セグメント別見通し・設備投資・減価償却

2021年度見通し  
 JSP Corporation  
 A Global Supplier for Global Society

項目 (単位：百万円)	2020年度実績		2021年度見通し		前年度差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
押出事業	37,595	2,576	<b>39,200</b>	<b>2,200</b>	1,605	△376
ビーズ事業	59,893	3,550	<b>68,400</b>	<b>3,800</b>	8,507	250
その他	5,179	96	<b>5,400</b>	<b>100</b>	221	4
調整額	---	△1,038	---	△1,100	---	△62
合計	102,668	5,185	<b>113,000</b>	<b>5,000</b>	10,332	△185

- 設備投資額 8,200百万円
- 減価償却費 6,600百万円 (2020年度比 9百万円減少)

1. 2021年3月期決算概要（2020年度）
2. 2022年3月期決算見通し（2021年度見通し）
- 3. 2021年3月期決算補足（2020年度補足）**
4. サステナビリティ社会に貢献する製品紹介

(%は表示は対前期増減率)

年度 (単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2020年度	102,668 (△9.4%)	5,185 (2.0%)	5,519 (5.9%)	3,017 (△17.1%)
2019年度	113,375 (△2.4%)	5,083 (△7.2%)	5,210 (△10.7%)	3,638 (△15.6%)

包括利益：2020年度 2,594百万円 2019年度 2,097百万円

年度	1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2020年度	101円22銭	3.7%	4.3%	5.1%
2019年度	122円07銭	4.5%	4.0%	4.5%

# 18 営業外損益・特別損益

2020年度補足

JSP Corporation

A Global Supplier for Global Society

## 営業外損益

科目 (単位：百万円)	2019年度	2020年度
受取利息	212	161
補助金収入	84	177
その他	270	350
<b>営業外収益合計</b>	<b>568</b>	<b>689</b>
支払利息	201	144
為替差損	134	128
その他	105	81
<b>営業外費用合計</b>	<b>441</b>	<b>354</b>

## 特別損益

科目 (単位：百万円)	2019年度	2020年度
固定資産売却益	13	9
投資有価証券売却益	32	-
<b>特別利益合計</b>	<b>45</b>	<b>9</b>
固定資産除却損	50	97
減損損失	381	-
子会社整理損※1	-	242
子会社における 送金詐欺損失※2	-	984
その他	11	6
<b>特別損失合計</b>	<b>444</b>	<b>1,332</b>

※1 北米の電子線架橋発泡ポリエチレンシート事業

※2 欧州グループ会社における資金流出事案

年度 (単位：百万円)	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
2020年度末	129,053	85,561	63.9%	2,767円26銭
2019年度末	128,445	84,646	63.4%	2,729円87銭

(参考) 自己資本  
 2020年度末 82,488百万円  
 2019年度末 81,375百万円

年度 (単位：百万円)	現金及び預金	短期借入金※	長期借入金	借入金合計
2020年度末	17,400	11,673	8,680	20,353
2019年度末	13,466	12,176	8,642	20,818

※1年内返済予定の長期借入金を含む

科目 (単位：百万円)		2019年度末	2020年度末	増減額
資産の部	流動資産	60,575	<b>62,456</b>	1,880
	固定資産	67,869	<b>66,597</b>	△1,272
資産合計		128,445	<b>129,053</b>	608
負債の部	流動負債	31,611	<b>31,275</b>	△335
	固定負債	12,186	<b>12,216</b>	29
	負債合計	43,798	<b>43,492</b>	△306
純資産の部	株主資本	83,665	<b>85,191</b>	1,526
	その他包括利益累計額	△2,290	<b>△2,703</b>	△412
	非支配株主持分	3,270	<b>3,072</b>	△198
	純資産合計	84,646	<b>85,561</b>	915
負債純資産合計		128,445	<b>129,053</b>	608

科目 (単位：百万円)		2019年度末	2020年度末	増減額
株主資本	資本金	10,128	<b>10,128</b>	—
	資本剰余金	13,405	<b>13,405</b>	—
	利益剰余金	61,518	<b>63,045</b>	1,526
	自己株式	△1,387	<b>△1,387</b>	△0
	合計	83,665	<b>85,191</b>	1,526
その他の包括 利益累計額	その他有価証券評価差額金	268	<b>527</b>	259
	為替換算調整勘定	△3,255	<b>△4,182</b>	△927
	退職給付に係る調整累計額	696	<b>952</b>	255
	合計	△2,290	<b>△2,703</b>	△412
非支配株主持分		3,270	<b>3,072</b>	△198
純資産合計		84,646	<b>85,561</b>	915

# キャッシュフロー 設備投資額・減価償却費・研究開発費

2020年度補足

JSP Corporation

A Global Supplier for Global Society

## キャッシュフロー

年度 (単位：百万円)	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	現金及び現金 同等物の残高
2020年度	12,211	△5,174	△2,266	12,278
2019年度	11,484	△12,406	△358	7,584

## 設備投資額・減価償却費・研究開発費

年度 (単位：百万円)	設備投資額	減価償却費	研究開発費
2020年度	5,668	6,608	2,246
2019年度	12,200	6,427	2,312

(注) 設備投資額はキャッシュベースであります。

1. 2021年3月期決算概要（2020年度）
2. 2022年3月期決算見通し（2021年度見通し）
3. 2021年3月期決算補足（2020年度補足）
- 4. サステナビリティ社会に貢献する製品紹介**

## 老朽化した橋梁を補強することで高寿命化する

- 日本国内の橋梁、トンネル他土木構造物は老朽化が進んだ物件が増えてきました。また、5年に一度の点検が義務化され補強・改修が急務になっています。
- サステナブルな社会づくりの観点からも公共インフラはスクラップアンドビルドから補強することで長寿命化が求められています。
- このフォームサポート工法は、構造物を長寿命化させ、しかも供用しながらの施工が可能であり、今後更なる需要の拡大が見込まれています。

スチロダイア  
ブロック

壁面材



北海道小樽での施工実績 2021年3月竣工

高発泡（省資源）で緩衝性、耐久性に優れた新素材

# エアブロック™



ポリエチレンの  
緩衝性

ポリプロピレン  
の剛性

帯電防止機能

- JSPの独自技術で誕生した高発泡製品です。
- 自動車部材やパソコン、テレビなどの緩衝材など幅広い用途での活用が期待されます。
- 高発泡のためプラスチック使用量削減、環境負荷を低減するサステナブルな新素材です。

## リサイクル原料を使用したARPROを欧州生産・販売開始

- JSPではリサイクルポリプロピレンを用いたARPRO REの採用が始まりました。
- その中で、漁網などの海洋廃棄物を原料とするリサイクル原料を使った製品ARPRO RE OCEANを開発し、炭酸ガス排出の削減や海洋廃棄物の再利用に貢献しています。



海洋廃棄物（漁網）



リサイクル原料



ARPRO RE OCEAN

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

# 株式会社 J S P

お問合せ Tel 03-6212-6306 広報 IR室